

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1997年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理事業は、国庫(3,800,000円)、県費(1,900,000円)の補助金の交付を受け、平成9年4月7日から平成10年3月31日まで実施した。
3. 調査組織
 調査主体者 大井町教育委員会
 担当課 生涯学習課文化財保護係
 教育長 遠藤正明
 生涯学習課長 池本敏雄
 文化財保護係長 喜多川泰実
 文化財保護係・発掘調査担当者 坪田幹男・高崎直成・鍋島直久
 大井町臨時職員(発掘調査補助員)・発掘調査担当者 土本医
4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。
 執筆：鍋島直久・今井堯
 土器実測：石垣ゆき子、山口妙子 石器実測：高橋けい子、土本医、石原聡
 陶磁器実測：石垣ゆき子 石器拓影：石垣ゆき子、高橋けい子、山口妙子
 土器復元：中田藤子 トレース：小林登喜枝、高橋けい子
 図版作成：高橋けい子、中田藤子、石垣ゆき子、山口妙子、須藤さち子、丹治つや子
 表作成：青山奈保美、小澤千恵子
 遺構写真：坪田幹男・高崎直成・鍋島直久・土本医 遺物写真：鍋島直久
 土器・石器実測の一部を(有)文化財COMに委託した。
 また、整理事業のなかで日本考古学協会の今井堯氏の援助と協力を得た。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。
 会田昭明、浅野晴樹、石原聡、穴澤義功、荒井幹夫、市丸靖子、今井堯、内田賢司、岡田憲治、
 小澤千恵子、加藤秀之、梶原勝、梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井和久、
 桜井信枝、笹森健一、島田一郎、鈴木裕子、鈴木仁子、田中信、中島宏、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人
 松本新八郎、松本富雄、水村孝行、柳井章宏、柳沢健司、和田晋治(敬称略)
 埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、
 大井町遺跡調査会、(有)文化財COM。
6. 発掘調査ならびに整理事業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。
 〈発掘調査参加者〉(敬称略)
 新井和枝、荒井美奈子、飯塚泰子、井上晴江、海老原サナエ、大曾根キク子、笠原英子、金子君子、
 金丸文男、小林こずい、酒井昭、佐久間ひろ子、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、
 高木千恵子、戸澤竹二、中嶋末子、野岡由紀子、野沢松代、林きぬ子、比嘉洋子、三村美代子、
 若尾久美子、若林紀美代。
 〈整理事業参加者〉(敬称略)
 青山奈保美、石垣ゆき子、植田勢津子、小林登喜江、斎藤尽志、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、
 中田藤子、山口妙子

凡 例

1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - (1) 縮尺は原則として以下のとおりである。
 遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 炉などの詳細図 1:30
 土器実測図 1:4 土器拓影図・石器実測図 1:3
 - (2) 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
 - (3) 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。
 攪乱  地山(ローム)  焼土  土器(片) ● 石器 ★ 礫 △
 - (4) 土器実測図におけるscreen-tone  の指示は、地文の縄文または撚糸文を示す。
 - (5) 土器、陶磁器の実測図で中心線が点線の場合は180度回転させて復元実測したことを示す。
 - (6) 土器断面図は、「網目」が繊維含有、「黒丸」が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 1997年度埋蔵文化財調査一覧表

() 内は本調査期間

No.	遺跡・地点	所在地	面積(㎡)	原因	調査期間	調査措置
1	亀居遺跡第49地点	亀久保1007-14	214	店舗併用住宅	9.11.6～9.11.10	試掘
2	亀居遺跡第50地点	亀久保1007-5	197.99	個人住宅	10.2.6 (10.2.9～10.2.20)	試掘後教育委員会で本調査
3	鶴ヶ舞遺跡第4地点	鶴ヶ舞1-60-6、60-10	318.48	共同住宅	9.8.26～9.8.29	試掘
4	鶴ヶ舞遺跡第5地点	鶴ヶ舞1-61-3	266.97	分譲住宅	9.11.4～9.11.6	試掘
5	江川南遺跡第8地点	東久保7街区1画地	50	墓地移転	9.10.13～9.10.15	試掘
6	東久保遺跡第8地点	東久保18街区12画地	305	個人住宅	9.7.29～9.8.2	試掘
7	東久保遺跡第9地点	亀久保279、280	2,117	共同住宅	9.8.18～9.8.28 (10.3.1～10.5.18)	試掘後遺跡調査会で本調査
8	東久保遺跡第10地点	東久保19街区	1,067	分譲住宅	9.9.2～9.9.10	試掘
9	亀久保堀跡遺跡第2地点	東久保6街区4、5画地	127.71	個人住宅	9.9.11～9.9.25	試掘
10	亀久保堀跡遺跡第3地点	東久保6街区7、8画地	130	個人住宅	9.9.11～9.9.25	試掘
11	亀久保堀跡遺跡第4地点	東久保6街区9、10画地	113	個人住宅	(9.9.11～9.9.25)	教育委員会で本調査
12	亀久保堀跡遺跡第6地点	東久保6街区11、12画地	102	個人住宅	9.9.11～9.9.25	試掘
13	亀久保堀跡遺跡第7地点	東久保32街区5、6画地	739	店舗	9.10.29～9.11.4 (10.2.2～10.2.19)	試掘後遺跡調査会で本調査
14	亀久保堀跡遺跡第8地点	東久保32街区2画地の一部	318	共同住宅	10.2.6～10.2.19	試掘
15	亀久保堀跡遺跡第9地点	東久保5街区9、10画地	131	個人住宅	(10.2.24～10.3.10)	教育委員会で本調査
16	東中学校西遺跡第4地点	東久保326外	24,681	店舗	9.2.6～9.10.29 (9.6.12～9.7.31)	試掘後遺跡調査会で本調査
17	東中学校西遺跡第6地点	亀久保325-1、7、8、9	135.62	事務所	9.6.26～9.6.27	試掘
18	東中学校西遺跡第8地点	東久保44街区13、14画地	251.94	個人住宅	(9.8.5～9.8.9)	教育委員会で本調査
19	東中学校西遺跡第9地点	東久保45街区2、3画地	324.70	個人住宅	9.8.19～9.9.1	試掘
20	東中学校西遺跡第10地点	東久保42街区1画地	135.19	店舗	9.12.10～9.12.20	試掘
21	東中学校西遺跡第12地点	東久保44街区3、23、24画地	1,879	店舗	10.1.6～10.1.24	試掘
22	東久保南遺跡第12地点	東久保64街区1画地	446	個人住宅	9.5.8～9.5.16 (9.5.19～9.6.7)	試掘後教育委員会で本調査
23	東久保南遺跡第13地点	東久保62街区1、2、3画地	460	個人住宅	(9.8.25～9.9.1)	教育委員会で本調査
24	西ノ原遺跡第100地点	苗間150-2	447	共同住宅	9.4.5～9.4.12	試掘
25	西ノ原遺跡第101地点	苗間183-1、3	187	モデルハウス	9.7.22～9.7.25	試掘
26	西ノ原遺跡第102地点	大井苗間22街区5画地	179	個人住宅	9.10.9～9.10.20	試掘
27	西ノ原遺跡第104地点	大井苗間22街区2画地	223	個人住宅	9.10.6～9.10.8	試掘
28	西ノ原遺跡第105地点	苗間125-2、126-2	565	共同住宅	10.1.13～10.2.12	試掘
29	西ノ原遺跡第106地点	苗間112	135.58	個人住宅	10.1.28～10.2.4	試掘
30	西ノ原遺跡第107地点	苗間112	135.56	個人住宅	10.2.9～10.2.13	試掘
31	西ノ原遺跡第108地点	苗間91-1、92-1、99-1各一部	413	個人住宅	10.3.3 (10.3.4～10.3.17)	試掘後教育委員会で本調査
32	西ノ原遺跡第109地点	苗間83-4	429	店舗付共同住宅	10.3.11～10.3.18	試掘
33	中沢前遺跡第14地点	苗間191-1、191-4	310	店舗	10.2.26～10.3.2	試掘
34	神明後遺跡第6地点	苗間255、227-2	150.79	個人住宅	9.9.29～9.9.30	試掘
35	苗間東久保遺跡第20地点	苗間637-18、19	664	分譲住宅	10.3.18～10.3.24 (10.6.15～10.8.13)	試掘後遺跡調査会で本調査
36	浄禅寺跡遺跡第16地点	苗間579-1	291	個人住宅	(9.11.10～9.12.19)	教育委員会で本調査
37	小田久保遺跡第4地点	大井1185-5	271	分譲住宅	9.6.24～9.6.26	試掘
38	本村遺跡第60地点	大井129	320.06	分譲住宅	9.6.2～9.6.14	試掘
39	本村遺跡第61地点	大井76	134.66	個人住宅	9.6.4～9.6.14	試掘
40	本村遺跡第62地点	大井342	1,947	共同住宅	9.6.30～9.7.18 (9.10.21～10.1.20)	試掘後遺跡調査会で本調査
41	本村遺跡第63地点	大井380	154	個人住宅	9.10.31～9.11.1	試掘
42	本村遺跡第64地点	大井苗間101街区1画地の一部	134.60	個人住宅	9.10.13～9.10.18	試掘
43	本村遺跡第65地点	大井110-2	391	学校増築	10.3.6～10.3.13 (10.4.16～10.5.21)	試掘後遺跡調査会で本調査
44	本村遺跡第66地点	大井苗間93-1街区8、9画地	179	駐車場	10.2.7～10.2.16	試掘
45	本村遺跡第67地点	大井苗間82街区	140	個人住宅	10.3.25～10.3.26	試掘
46	東台遺跡第29地点	大井606-3	500.27	個人住宅	10.2.27～10.3.3 (10.3.4～10.3.5)	試掘後教育委員会で本調査
調査面積合計			42,812.12			

3 本村遺跡第61地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より1997年6月2日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置するため申請者と協議の結果、遺跡の範囲確認と遺構の存在確認のため試掘調査を実施することとした。調査は幅約2mのトレンチを調査区長軸方向に2本設定し重機による表土除去の後、人力による調査を行った。試掘調査の結果井戸1基を確認検出し、6月13日埋め戻しを行い調査を終了した。

井戸の平面形態は円形、断面形はやや凹凸がみられるが筒型で礫層を掘り抜いている。規模は上端1.45×(1.2)m、下端55×40cm、深さ3.698mを測る。

4 本村遺跡第62地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より1997年6月13日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東側縁辺部に位置するため申請者と協議の結果、遺跡の範囲確認と遺構の存在確認のため試掘調査を実施することとした。調査は幅約2mのトレンチを調査区長軸方向に7本設定し重機による表土除去の後、人力による調査を行った。試掘調査の結果調査区全体に遺構の黒色プランを確認した。このため原因者と再協議の結果、開発の変更などが出来ないため、原因者負担による本調査を実施することとした。

本調査は10月21日から1998年1月20日まで大井町教育委員会生涯学習課を事務局とする大井町遺跡調査会が行い、旧石器時代礫群1、縄文時代落とし穴1基、中世以降の地下式竈2基・井戸4基・溝9本・竪穴状遺構1基・掘立建物跡多数等を検出した。遺物は縄文時代の石製耳飾りや15世紀代の古瀬戸陶器、かわらけ等が出土している。(大井町遺跡調査会で報告書刊行予定)

5 本村遺跡第63地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より1997年9月24日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置するため申請者と協議の結果、遺跡の範囲確認と遺構の存在確認のため試掘調査を実施することとした。調査は幅約2mのトレンチを調査区長軸方向に2本設定し重機による表土除去の後、人力による調査を行った。試掘調査の結果遺構や遺物は確認されなかったため、11月1日埋め戻しを行い調査を終了した。

6 本村遺跡第64地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より1997年6月13日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置するため申請者と協議の結果、遺跡の範囲確認と遺構の存在確認のため試掘調査を実施することとした。調査は幅約2mのトレンチを調査区長軸方向に2本設定し重機による表土除去の後、人力による調査を行った。試掘調査の結果ピット1を確認検出し、10月18日埋め戻しを行い調査を終了した。

ピットの平面形態は隅丸方形、規模は確認面径53×33cm、底面径35×26cm、深さは42.5cmを測る。

7 本村遺跡第65地点

(1) 調査の概要

調査は東原小学校校舎増築に伴うもので、1997年6月13日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中心部に位置し周辺の調査で遺構等が多数確認されているため、遺構の存在確認のため試掘調査を実施することとした。調査は幅約2mのトレンチを東西方向に4本設定し重機による表土除去の後、人力による調査を行った。

試掘調査の結果ピット数基と旧石器礫群を確認した。このため再協議の結果、工事の変更などが出来ないため、原因者負担による本調査を実施することとした。

本調査は1998年4月16日から1月20日まで大井町教育委員会生涯学習課を事務局とする大井町遺跡調査会が

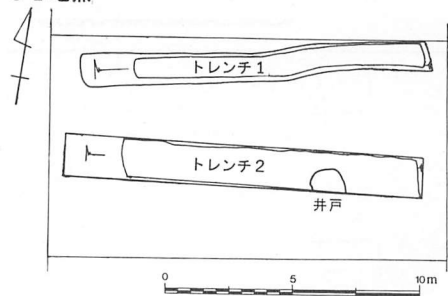
行い、旧石器時代礫群1、中世以降の溝1本・土坑1基、ピット10を検出した。遺物はローム層第IV層下層の礫群に伴うガラス質黒色安山岩を中心とした石器がまとまって出土した。(大井町遺跡調査会で報告書刊行予定)

8 本村遺跡第66地点

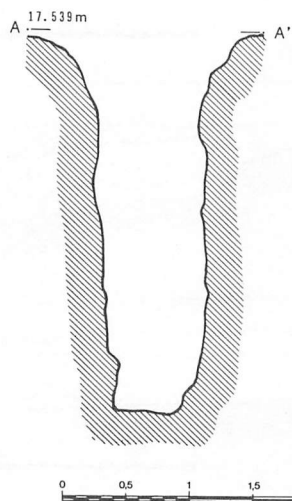
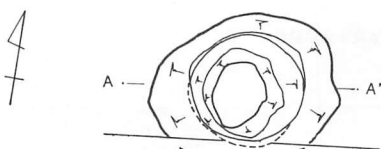
(1) 調査の概要

調査は砂利敷駐車場に伴うもので、原因者より1998年1月9日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置するため申請者と協議の結果、遺跡の範囲確認と遺構の存在確認のため試掘調査を実施することとした。調査は幅約2mのトレンチを調査区長軸方向に2本設定し、重機による表土除去の後、人力による調査を行い近世以降の時期とみられる溝とピットを検出し、2月16日埋め戻しを行い調査を終了した。

61地点



井戸



(2) 遺構と遺物

①溝1・溝2

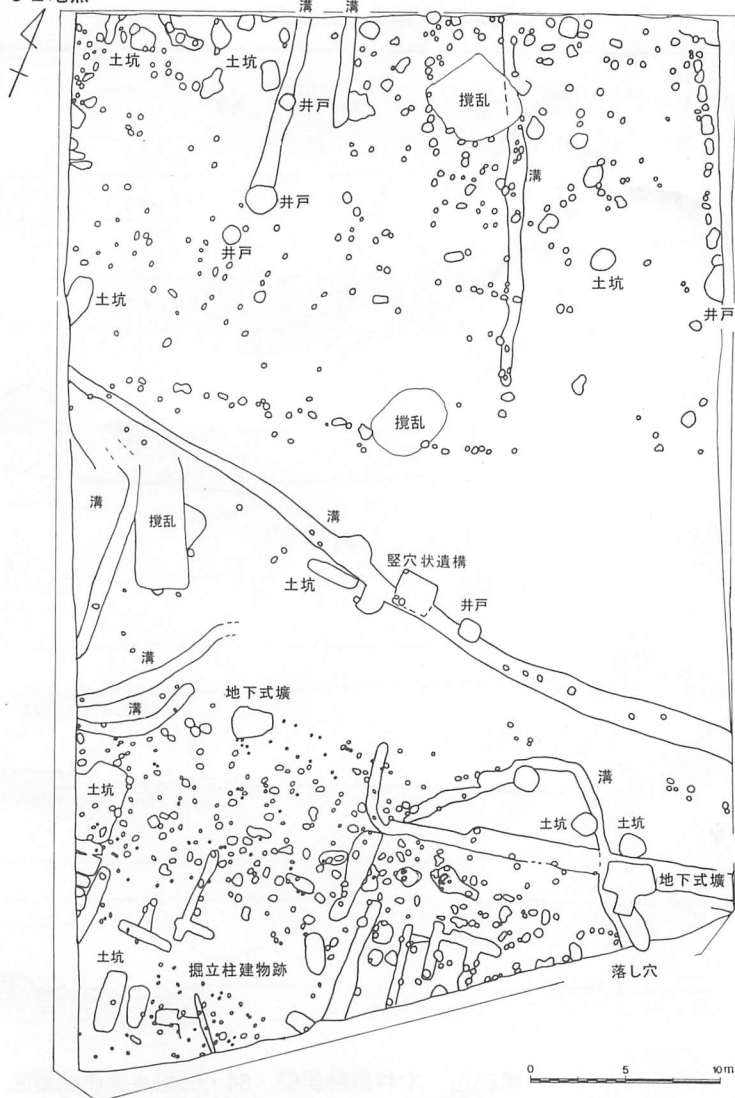
溝1、溝2は東西方向に平行して延び、断面は「W」状を呈する。溝1の規模は上幅1.15～2.25m、下幅20～40cm、深さは75cmを測る。溝2の規模は上幅0.93～1.06m、下幅55～63cm、深さは55cmを測る。

9 本村遺跡第67地点

(1) 調査の概要

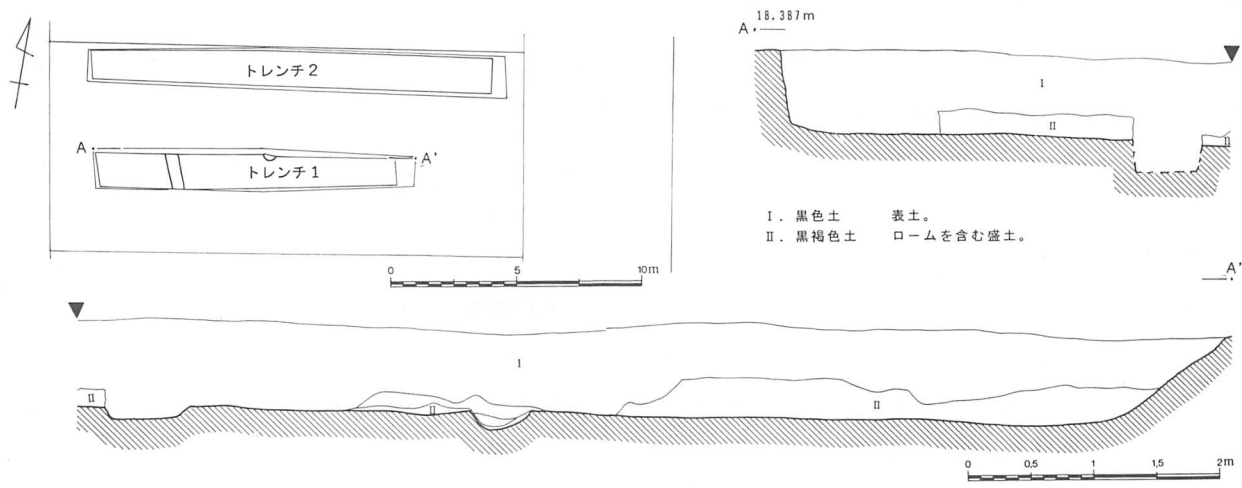
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より1998年3月23日付けで、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置するため遺構の存在確認の試掘調査を実施することとした。調査は幅約2mのトレンチを2本設定し、重機による表土除去の後、人力による調査を行い3月26日埋め戻しを行い調査を終了した。遺構遺物は確認されなかった。

62地点

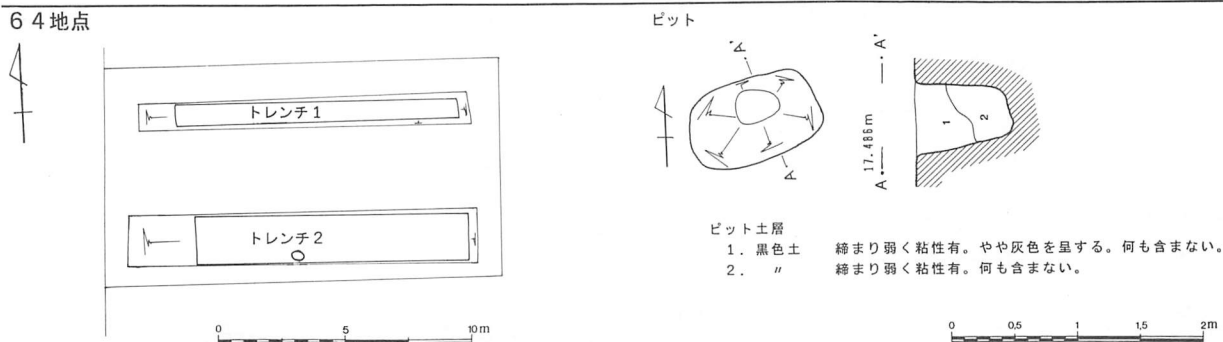


第85図 本村遺跡第61・62地点遺構配置図 (1/300・1/400)・井戸 (1/60)

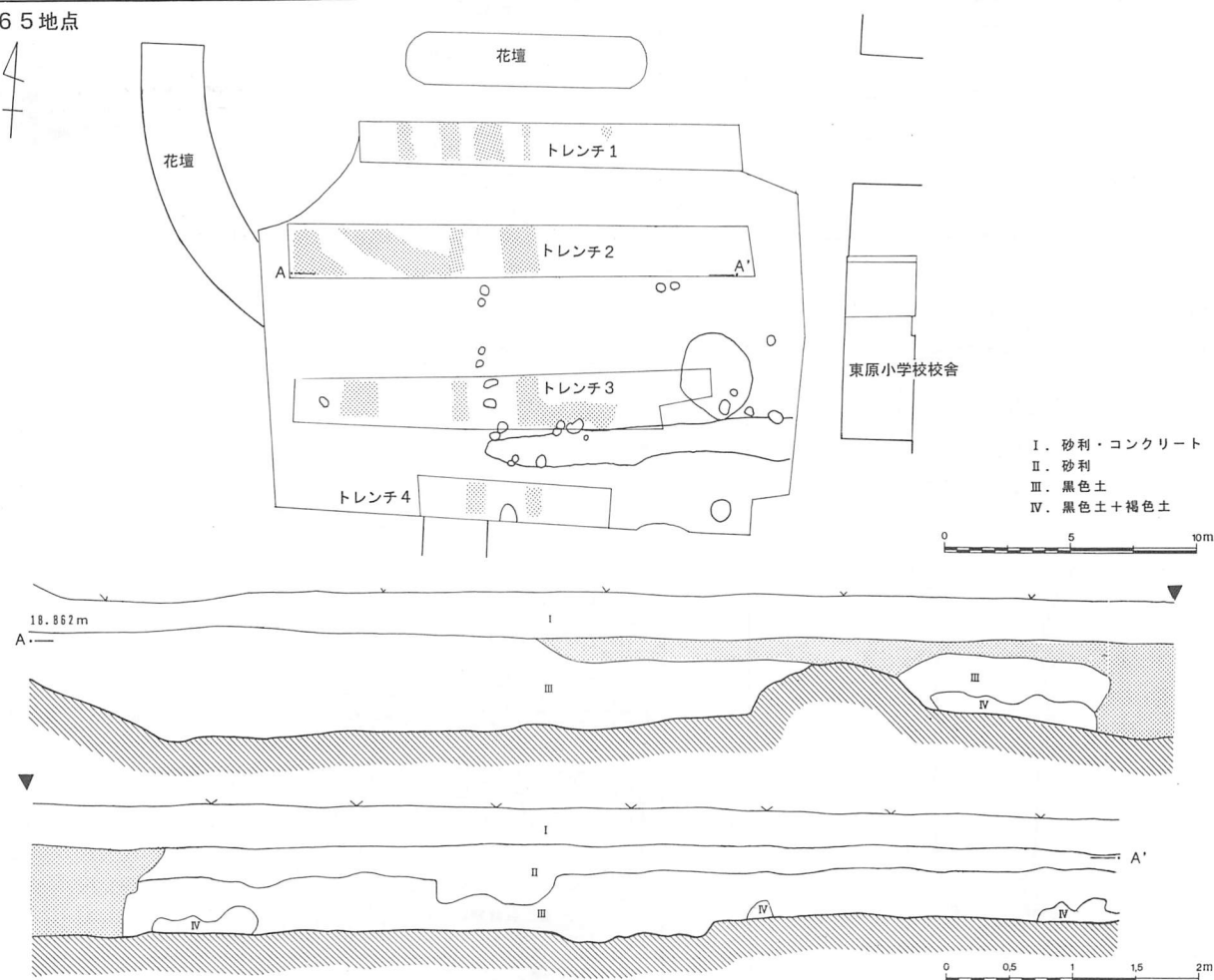
63地点



64地点



65地点



第86図 本村遺跡第63・64・65地点遺構配置図

(1/300)・第63・64・65地点土層・第65地点ピット (1/60)



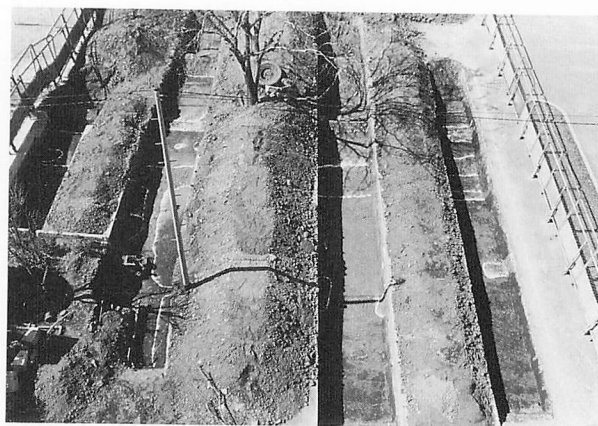
本村遺跡第64地点近景



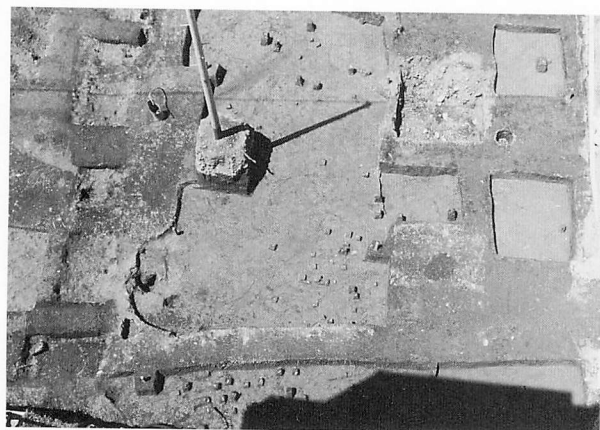
本村遺跡第64地点試堀



本村遺跡第65地点近景



本村遺跡第65地点試堀



本村遺跡第65地点旧石器出土状態



本村遺跡第65地点調査風景



本村遺跡第66地点試堀



本村遺跡第66地点溝

凡 例

1. 本書の遺構挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 縮尺はその都度図中に示している。
- (2) 遺構断面図の水糸高は海拔を示す。
- (3) 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。



2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

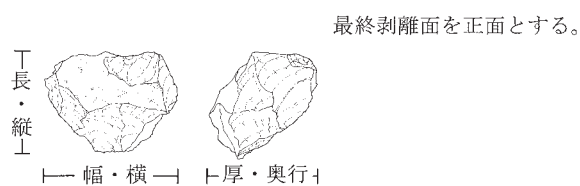
3. 本書の遺物挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 遺物番号は地点ごとに1からはじまる。
- (2) 砥石実測図の断面における矢印の表示は、実線が砥面を、一点鎖線が加工痕の残存面を表す。
- (3) 遺物実測図におけるscreen-toneの指示。

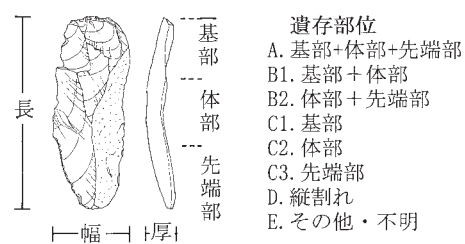


(4) 出土遺物観察表に記載した計測部位及び遺存部位は以下のとおりである。

〈石核〉

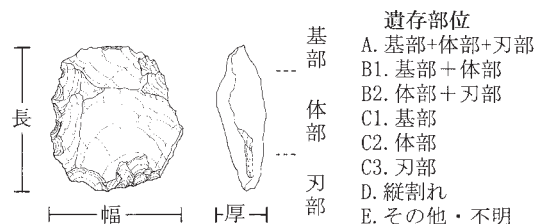


〈剥片・その他の剥片石器およびRF〉



- 遺存部位
- A. 基部+体部+先端部
 - B1. 基部+体部
 - B2. 体部+先端部
 - C1. 基部
 - C2. 体部
 - C3. 先端部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈スクレイパー(石匙を含む)〉



- 遺存部位
- A. 基部+体部+刃部
 - B1. 基部+体部
 - B2. 体部+刃部
 - C1. 基部
 - C2. 体部
 - C3. 刃部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈石鏃〉

素材剥片の背面を上面とする。



- 遺存部位
- A. 先端部+体部+両脚
 - B. 先端部+体部+片脚
 - C1. 先端部+体部
 - C2. 両脚+体部
 - C3. 片脚+体部
 - D1. 先端部
 - D2. 体部
 - D3. 両脚
 - D4. 片脚
 - E. 縦割れ
 - F. その他・不明

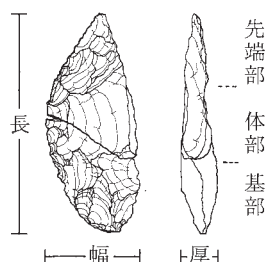
〈ナイフ形石器/尖頭器〉

ナイフ形石器



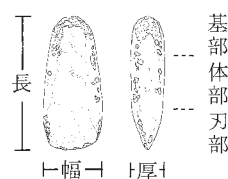
- 遺存部位
- A. 基部+体部+先端部
 - B1. 基部+体部
 - B2. 体部+先端部
 - C1. 基部
 - C2. 体部
 - C3. 先端部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

尖頭器



磨製石斧

〈磨製石斧/打製石斧〉



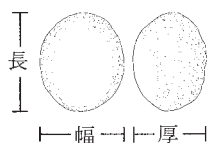
- 遺存部位
- A. 基部+体部+刃部
 - B1. 基部+体部
 - B2. 体部+刃部
 - C1. 基部
 - C2. 体部
 - C3. 刃部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

打製石斧

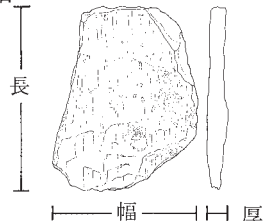


〈磨石/凹石〉

磨石



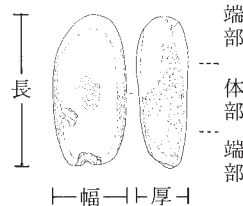
凹石



遺存部位

- A. 完形
- B. 残存率 3/4～
- C. 残存率 1/2～3/4
- D. 残存率 1/4～1/2
- E. 残存率 1/4以下

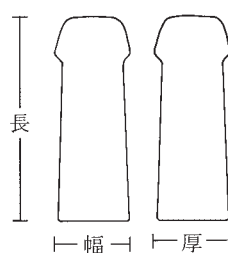
〈敲石/石錘〉



端部
体部
端部

- 遺存部位
- A. 端部+体部+端部
 - B. 端部+体部
 - C1. 端部
 - C2. 体部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈石棒〉



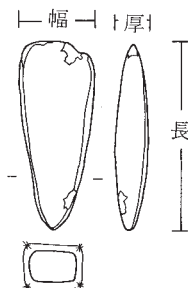
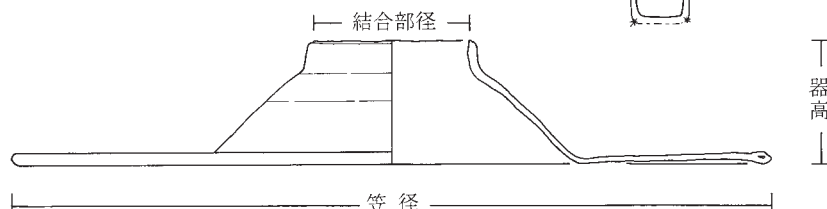
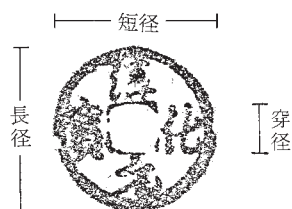
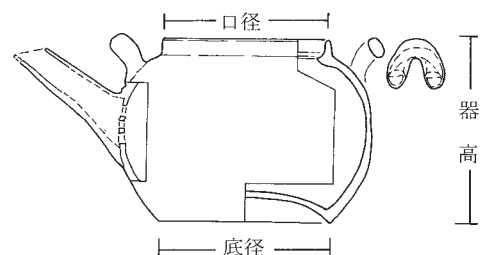
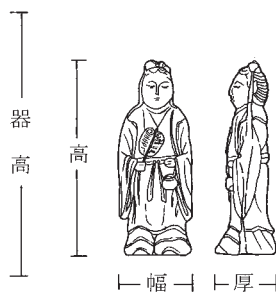
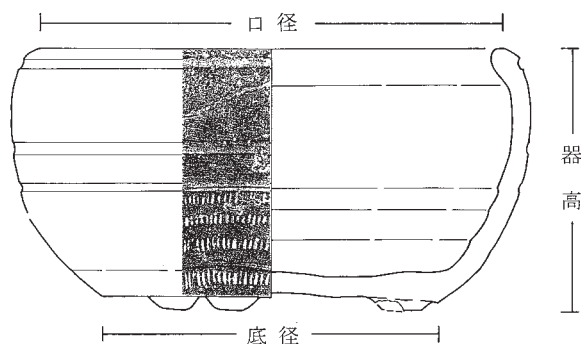
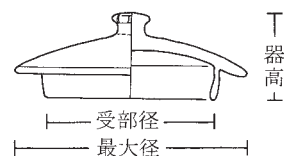
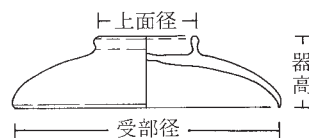
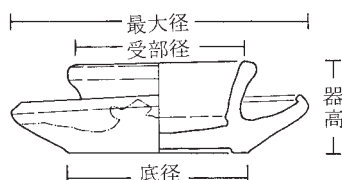
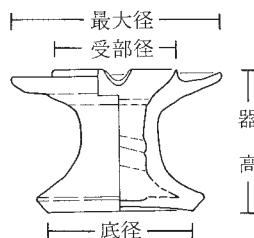
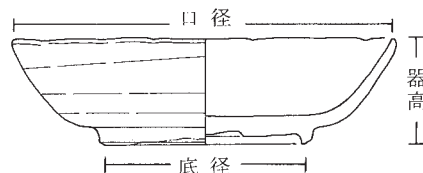
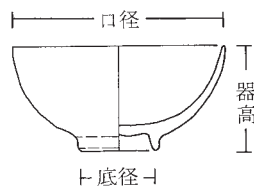
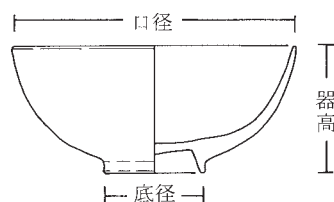
先端部
体部
基部

- 遺存部位
- A. 先端部+体部+基部
 - B1. 先端部+体部
 - B2. 体部+基部
 - C1. 先端部
 - C2. 体部
 - C3. 基部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈碎片〉

長さ、幅、厚さ ともに最大を計測。

〈陶磁器/土器/銭貨/ガラス製品〉



第4図 本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第23表 本村遺跡第62地点出土遺物観察表 陶磁器・土器・金属製品・石製品

備考欄の写番号は写真図版番号

図版 番号	遺物 番号	出土地	種別・器種	単位cm 推定* 残存()			技法／文様／その他	推定生産地	推定年代	残存／備考
				口径	底径	器高				
67	1	N井戸1	磁器・碗	*12.5	—	(3.0)	ロクロ成形／染付、口縁部波濤文帯	中国	15C後半～16C前半	破片／小野1982分類「染付碗D類」／写65
	2	地下式坑1	土器・カワラケ	12.6	6.4	3.2	ロクロ成形、糸切底(右)	在地	16C前半?	完形／写65
	3	N井戸3	土器・カワラケ	11.8	5.0	3.5	ロクロ成形、糸切底(左)／白色針状物質有り	在地	16C前半?	一部欠／写65
	4	地下式坑1	瓦質土器・播鉢	—	—	(6.0)	ロクロ成形／櫛目7本単位			破片／写65
	5	地下式坑2 —P134	陶器・皿 腰折皿	*10.3	4.2	2.2	ロクロ成形／灰釉、見込み目痕3、疊付が磨かれる	瀬戸・美濃	古瀬戸後IV期新 1460～1480年代	3/4／P134と接合／写65
	6	地下式坑2	陶器・鉢	*26.6	—	(7.4)	ロクロ成形／口縁部灰釉	瀬戸・美濃	古瀬戸後IV期新 1460～1480年代	破片／写65
	7	地下式坑2	陶器・播鉢	—	—	(6.0)	ロクロ成形、糸切底(右)／鉄釉、櫛目13本単位	瀬戸・美濃	16C	破片／写65
	8	7トレンチ	陶器・播鉢	—	—	(4.2)	ロクロ成形／鉄釉／口縁に敲き痕	瀬戸・美濃	1590～1610年代	破片／写65
	9	P342	陶器・皿 緑釉小皿	*9.6	—	(1.9)	ロクロ成形／口縁部灰釉	瀬戸・美濃	大窯I期 1480～1500年代	破片／写65
	10	P107	土器・カワラケ	*11.4	—	(2.5)	ロクロ成形／口縁部煤付着	在地	16C後半?	破片／写65
	11	N P218	陶器・碗 天目茶碗	—	4.95	(1.35)	ロクロ成形／内面鉄釉、高台無釉	瀬戸・美濃	中世後半～近世初頭	1/2／高台部のみ残存／写65
	12	一括	金属製品・刀子	長 (14.8)	幅 3.5	厚 *1.2	鉄製			刃部ほぼ完形／写65
	13	地下式坑1	石製品・板碑	長 (19.4)	幅 (23.9)	厚 2.95	緑泥片岩製、表裏面に工具痕(鑿痕)有り、表面にはさらに線状痕有り		中世	破片／写65
	14	地下式坑1	石製品・板碑	長 (19.5)	幅 (12.3)	厚 1.9	緑泥片岩製、表面研磨		中世	破片／写65
	15	地下式坑2	石製品・砥石	長 (7.9)	幅 (5.1)	厚 (3.4)	砂岩製			一部欠／写65
68	16	N井戸3	石製品・板碑	長 (29.0)	幅 (24.65)	厚 2.7	緑泥片岩製、裏面工具痕(鑿痕)有り／連座、凡字サ・サク、「癸 十(欠)／正慶二年三月(欠)／西(欠)」		1333年	破片／北朝年号／写65
	17	N井戸3	石製品・板碑	長 (37.8)	幅 22.4	厚 2.3	緑泥片岩製、裏面工具痕(鑿痕・彫刻刀痕)有り、「(欠)道徳(欠)日(欠)門」		中世	基部／写65
	18	N P64	石製品・砥石	長 (11.9)	幅 (4.6)	厚 (5.5)	砂岩製			一部欠／写65
	19	P80	石製品・石臼(上)	*20.4	—	7.8	砂岩製、外面工具痕(ノミ痕)有り			1/4以下／写65
	20	P80	石製品・砥石	長 (8.05)	幅 (4.0)	厚 (2.7)	流紋岩製			一部欠／写65
	21	N区	石製品・袂状耳飾	縦 2.8	横 3.4	厚 0.9	穿孔径 1.0×0.8 切込幅0.3／研磨		縄文	完存・滑石／写65

10 本村遺跡第65地点

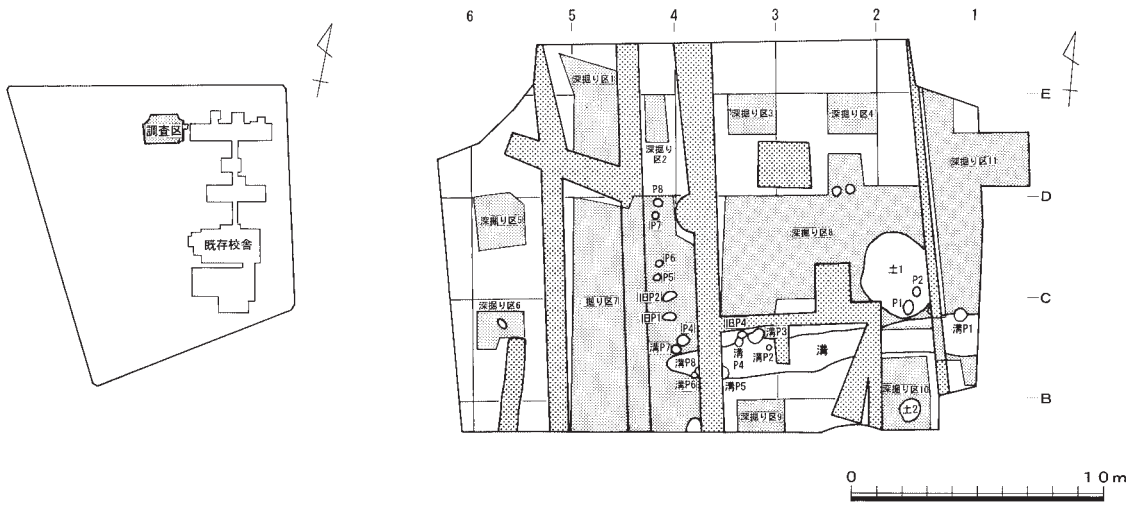
(1) 調査の概要

本地点は本村遺跡の中央部に位置し、西側が第8地点と接している。調査は東原小学校校舎増築に伴うもので、1997年6月13日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲内に位置するため試掘調査を行った。調査区の短軸方向に幅約2mのトレンチを4本設定し、1998年3月6日から同月13日にかけて重機による表土除去・人力による精査を実施した。

試掘調査の結果、ピットと旧石器の礫群が確認されたため、大井町遺跡調査会が主体となって1998年4月16日から5月21日まで本調査を行った。

(2) 遺構と遺物 (第69～72図、第24・25表、図版28・65)

旧石器時代の礫群5ヵ所、中世以降の溝1条・土坑2基・ピット13基を検出した。出土遺物は、旧石器時代の石器45点・礫646点、土器4点、その他2点である。(鳥越多工摩)



第69図 本村遺跡第65地点遺構配置図 (1/300)



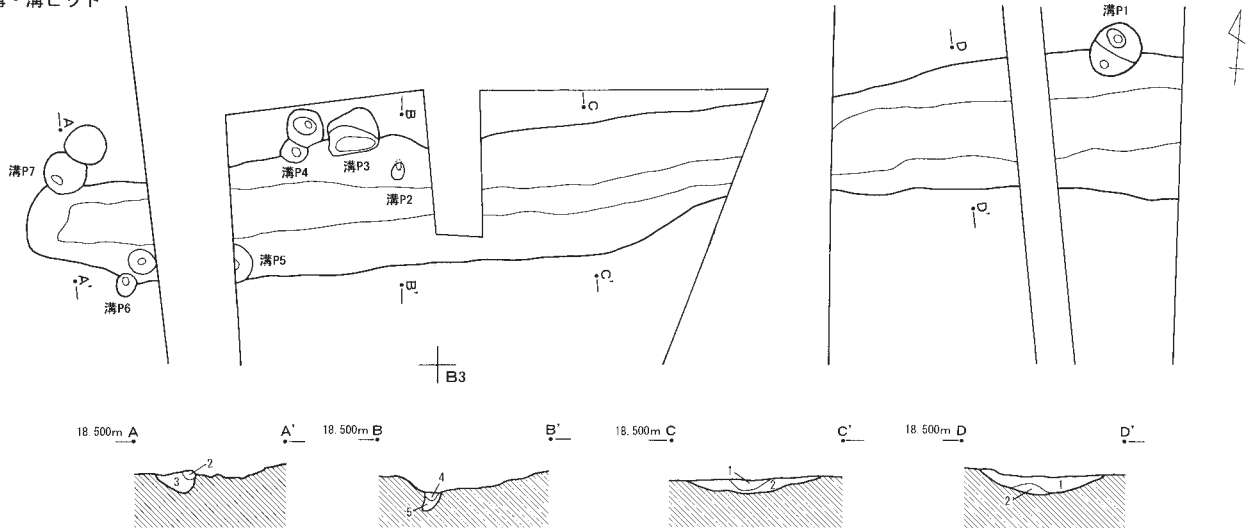
第70図 本村遺跡第65地点旧石器時代の石器（上）・礫（下）出土分布図（1/200）

第24表 本村遺跡第65地点遺構観察表

() は残存値、備考欄の写番号は写真図版番号

図版番号	遺構名	形状	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	出土遺物	備考
69	土坑 1	方形	2.99	(2.75)	0.32	—	中・近世／写28
71	溝	—	(12.39)	1.02～1.40	0.19～0.26	—	中・近世
	溝P1	楕円	0.62	0.48	0.69	—	中・近世／溝底ビット
	溝P2	楕円	0.19	0.12	0.20	—	中・近世／溝底ビット
	溝P3	—	0.55	0.45	—	—	中・近世／溝底ビット
	溝P4	—	0.17	—	0.18	—	中・近世／溝底ビット
	溝P5	—	(0.42)	—	0.19	—	中・近世／溝底ビット
	溝P6	楕円	0.23	0.22	0.28	—	中・近世／溝底ビット
	溝P7	円	0.47	0.44	0.23	—	中・近世／溝底ビット
	溝P8	隅丸方形	0.26	0.26	0.35	—	中・近世／溝底ビット

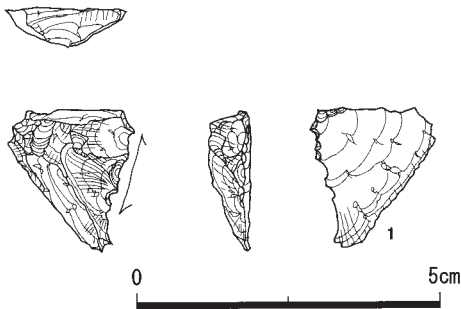
溝・溝ビット



- 溝・溝ビット覆土
- 1. 黒褐色土。締まり・粘性無。黒色土粒、褐色土粒、黄褐色土粒含む
 - 2. 黒褐色土。締まり・粘性無。黄褐色土塊(10～40mm)含む
 - 3. 暗黄褐色土。締まり・粘性無。黄褐色土主体層。褐色土粒少量
 - 4. 褐色土+黄褐色土。締まり・粘性無。黒色土粒、黄褐色土塊含む
 - 5. 黒褐色土。締まり・粘性無。黄褐色土粒含む

0 1 2 m

第71図 本村遺跡第65地点溝・溝ビット (1/80)



第72図 本村遺跡第65地点出土遺物 旧石器 (4/5)

第25表 本村遺跡第65地点出土遺物観察表 旧石器

< > は残存値、備考欄の写番号は写真図版番号

図版番号	遺物番号	出土地	器種	石材	遺存部位	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	質量 (g)	同個 No.	備考
72	1	壕群 3 (A4)	R F	黒曜石	C 3	<2.4>	<2.0>	1		2	旧石器／ナイフ形石器の可能性有／写66



本村遺跡第65地点礫群 4 (上)・5 (下) 遺物出土状況



本村遺跡第65地点礫群 4 遺物出土状況



本村遺跡第65地点礫群 5 遺物出土状況



本村遺跡第65地点礫群遺物出土状況



本村遺跡第65地点土坑 1



本村遺跡第74地点調査区全景



本村遺跡第74地点調査区近景



本村遺跡第74地点土坑 1

